

## 託送収支計算書

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から  
2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業利益(又は営業損失)	8,762,335		
営業外費用	12,039	営業外収益	112,663
資金調達	12,039	資金運用	106,311
雑支出等	—	雑収入	6,352
その他	—	その他	—
特別損失	—	特別利益	—
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期 純損失)	8,862,959		
法人税等	2,481,629		
託送供給関連部門当期純利益(又は 託送供給関連部門当期純損失)	6,381,330		

減価償却費の財務会計との差額

—

理由:富山ラインに係る減価償却費を、託送料金算定規則別表第5第1表(1)の減価償却費の項目の算定方法の欄  
ただし書きの規定により算定。ただし、当社の財務会計におけるパイプラインの耐用年数は、経済的使用  
可能予測期間として30年を適用していることから、差額は零。

ガス事業託送供給収支計算規則第11条に基づき、様式第1(第3条関係)託送収支計算書の営業費用、営業  
収益及び託送収益明細表の公表を控えております。

なお、当該部分を記載した託送収支計算に係る各様式は、経済産業大臣に提出しております。

様式第2(第4条関係)

託送資産明細書

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から

2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

項目	金額
建設仮勘定	2,262,599
設備勘定(有形)	92,946,546
無形固定資産	2,895,283
長期前払費用	3,842
運転資本	1,569,662
繰延資産	—
託送資産合計	99,677,932

建設仮勘定、設備勘定(有形)、無形固定資産、長期前払費用は、期首期末平均の額とする。

(特定導管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
特定導管	2,054,824	3,182,792	1,330,921	16,282,438	3,571,688	5,284,533

様式第3(第5条関係)

第1表

超過利潤計算書

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から

2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

項目	金額
税引前託送供給関連部門当期純利益(又は税引前託送供給関連部門当期純損失)(①)	8,862,959
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。)(②)	—
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。)(③)	106,311
託送供給関連部門の特別損益(④)	—
その他調整額(⑤=⑥+⑦)	134,683
補償料等収入(⑥)	134,683
最終保障供給取引損益(⑦)	—
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益(又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失)(⑧=①+②-③-④-⑤)	8,621,965
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等(⑨)	2,414,150
調整後託送供給関連部門当期純利益(又は調整後託送供給関連部門当期純損失)(⑩=⑧-⑨)	6,207,815
託送供給関連部門事業報酬額(⑪)	9,573,447
減少事業報酬額(⑫)	—
託送供給関連部門の営業外費用(資金調達に限る。)(⑬)	12,039
当期超過利潤額(又は当期欠損額)(⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)	▲3,353,593
うち想定原価と実績費用との乖離額	▲975,006

第2表

超過利潤累積額管理表

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から

2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

項目	金額	備考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額)(①) (うち前期乖離額累積額)(⑦)	▲46,967,410 (▲11,690,240)	
当期超過利潤額(又は当期欠損額)(②) (うち想定原価と実績費用との乖離額)(⑧)	▲3,353,593 (▲975,006)	
還元額(③)	—	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額)(④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額)(⑨=⑦+⑧)	▲50,321,004 (▲12,665,246)	
一定水準額(⑤)	6,279,710	託送資産額 99,677,932千円 事業報酬率6.3%
一定水準超過額(⑥=④-⑤)	—	

## 第3表

## 導管投資額明細表(特定ガス導管事業者)

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から  
2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

項 目	当期投資額	備 考
特定導管	3,571,688	主要区間:新潟・長野・群馬・埼玉・富山

## 第4表

## 内部留保相当額管理表

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

2025年 1月 1日から  
2025年 12月 31日まで

(単位:千円)

項 目	金 額	備 考
前期末内部留保相当額(①)	▲215,108,194	
当期超過利潤額(又は当期欠損額)(②)	▲3,353,593	
還元額(③)	—	
当期導管投資額(又は当期特定導管投資額)(④)	3,571,688	
当期内部留保相当額(⑤=①+②-③-④)	▲222,033,475	還元義務額残高:—

## 第5表

## 乖離率計算書

事業者名 株式会社INPEX JAPAN

項 目	値	備 考
想定原価(千円)(①)	99,732,730	
想定需要量(千m <sup>3</sup> )(②)	7,419,934	
想定単価(円/m <sup>3</sup> )(③=①/②)	13.4	
実績費用(千円)(④)	129,828,448	
実績需要量(千m <sup>3</sup> )(⑤)	5,206,429	
実績単価(円/m <sup>3</sup> )(⑥=④/⑤)	24.9	
乖離率(%) (⑥/③-1)×100	85.8	

想定原価及び想定需要量は、2017年4月から2026年3月の9年間の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、2017年4月から2025年12月の9年間の合計とした。

なお、2019年度は決算月変更により9ヶ月(4月～12月)決算のため、原価算定と実績期間に3ヶ月分の乖離が発生。